本大会は全国大会の参加規定（「校内放送研究」№188）に準じて実施されます。全国大会の規定パンフレットは　https://www.nhk-fdn.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_h/index.html からダウンロードできます。

第７０回　ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト新潟県大会　兼
第６４回　新潟県高等学校放送コンテスト
【 実　施　要　項 】

主　催　新潟県高等学校教育研究会視聴覚部会・ＮＨＫ新潟放送局

共　催　新潟県高等学校文化連盟

主　管　新潟県高等学校文化連盟放送専門部

当番校　新潟県立長岡工業高等学校・新潟県立長岡大手高等学校

１　実施部門

（１）アナウンス　　（２）朗読
（３）ラジオドキュメント　　（４）テレビドキュメント
（５）創作ラジオドラマ　　（６）創作テレビドラマ

２　実施期日および会場

［本　　選］

日時：令和５年６月１３日（火）　９：３０～１５：３０（予定）

会場：長岡リリックホール　「コンサートホール」「シアター」

〒940-2108　長岡市千秋3丁目1356番地6　TEL.（0258）29-7711

※感染症拡大防止のため、入場は大会出場者と運営関係者及び大会出場者の家族のみとし、一般公開はしません

※参加者の事前人数制限は行いませんが、入場時の健康チェックや三密防止対策等ご協力をお願いします

※駐車場はホール周辺の駐車場をご利用できますが、楽屋口前は使わずハイブ長岡側をご利用ください

［予選審査］

アナウンス・朗読部門のみ、本選前に録音の提出による予選審査を行い、予選通過者が本選の出場資格者となります。

日時：令和５年６月４日（日）１０：００～

会場：長岡工業高等学校（録音審査・非公開）

※審査結果と講評用紙を郵送返却します。（録音媒体は、本選時に返却いたします。）

結果が６月７日（水）までに届かない場合は、当番校にご連絡ください。

３　日程（予定）

<table>
<tr><td>8:40−9:30
受付</td><td>10:00
9:45・審査員打合せ（楽屋）
9:35・顧問打合せ（シアター）</td><td>10:20</td><td>10:30
諸連絡</td><td colspan="2">朗読部門
（ホール）</td><td>12:00
13:00
昼休み</td><td>13:10</td><td>13:30
諸連絡</td><td colspan="2">14:30
アナウンス部門
（ホール）</td><td>15:30
16:00
審査・講評</td><td>16:30
結果発表・表彰式・閉会式</td><td>17:00
解散・退場</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>諸連絡</td><td colspan="2">創作ラジオドラマ
（シアター）</td><td>ラジオドキュメント
（シアター）</td><td></td><td>諸連絡</td><td colspan="2">創作テレビドラマ
（シアター）</td><td>テレビドキュメント
（シアター）</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

（１）出場生徒は、8:40～9:30迄に受付をして下さい。

（２）出場生徒は、各部門の諸連絡の時間には発表会場の指定の席で待機してください。

（３）参加顧問は、9:35にシアターのステージ前にご集合ください。出場状況や係作業の確認等を行います。

（４）審査員の打ち合わせは、9:45から楽屋で行います。

（５）参加人数により当日の日程を変更することがあります。ご了承ください。

（６）アナウンス・朗読部門では、当日の課題原稿を読んでいただきます。自作原稿に続けて読んでください。

（７）受付時にプログラム記載の学校名・氏名・作品名などに誤りが無いか確認してください。
誤りがある場合は、昼休み終了までに大会本部に申し出てください。

４　申し込み

（１）参加申込書

県高文連ＨＰの放送専門部リンク　http://www.kobunren.jp/housou/　から、
Ｅｘｃｅｌのワークシートによる申し込み様式をダウンロードし、必要事項を記入の上、
ファイルをＥ-ｍａｉｌに添付して送ってください。（開封確認の送信を推奨）

（２）参加申込締切日・申込先

全部門一括　５月２５日(木)当番校(長岡工業高校)必着

【参加申込の提出・問合せ先当番校】

〒940-0084　長岡市幸町２丁目７番７７号

県立長岡工業高等学校　平倉政弘

Ｅ－mail：hirakura.masahiro@gs.nein.ed.jp

Tel:(0258)35-1976　　Fax:(0258)39-2054

（３）原本の提出

ファイルを印刷し、学校長印を押印した参加申込書を、以下のいずれかの方法で提出してください。

①アナウンス・朗読原稿等送付時に同梱する。

②大会当日に受付にて直接提出する。

（４）題名の変更

番組申込み後の題名変更は、6月１日（木）まで可能です。変更の場合は上記申込先にE-mailにて連絡してください。「仮題」で申し込んでいただいても構いませんが、必ず6月１日（木）迄に当番校にお知らせください。これ以降の変更は、規定違反と見なし失格となる場合があります。

５　提出していただくもの

●アナウンス・朗読部門

（１）原稿　　７部……出場者１名につき７部必要。規定のＡ４袋綴じ（仕上がりＡ５製本）で作成。

（２）予選審査用の音声データ……各部門とも、１名につき１ファイルで作成してください。

（３）予選結果・講評返信用封筒（返送先記載・切手貼付済のもの）

……返送する講評用紙の量も多いので「レターパック（ライト）」をお勧めします。

（４）提出方法・提出期限・提出先

……上記⑴⑶は郵送（または直接持参）で下記提出先までお送りください。⑵は、フルサイズのＳＤカードに保存（複数部門の音声データを１枚に保存して構いません）して⑴⑶と一緒に郵送（または直接持参）するか、ストレージサービス・ファイル転送サービスを利用して提出してください。提出されたＳＤカードは、本選後にお返しします。

●ドキュメント・創作ドラマ部門

（１）進行表・CUEシート等　　２部……様式2-1～2-5をＡ４プリントで左上綴じにしてください。

（２）作品データ…各部門とも、１作品につき１ファイルで作成してください。

（３）提出方法・提出期限・提出先

……事前提出の場合は、上記⑴は郵送（または直接持参）で下記提出先までお送りください。⑵は、フルサイズのＳＤカードに保存（複数部門の作品データを１枚に保存して構いません）して⑴と一緒に郵送（または直接持参）するか、ストレージサービス・ファイル転送サービスを利用して提出してください。当日提出の場合は、⑵をフルサイズのＳＤカードに保存（複数部門の作品データを１枚に保存して構いません）して⑴と一緒に受付に提出してください。当日提出の場合は、万一再生できなかった場合は失格となりますので、バックアップとしてCDまたはDVD・BDを提出することも可能です。

【提出先・提出締切】

アナウンス・朗読部門

下記当番校に提出（６月１日(木)必着）

ドキュメント・創作ドラマ部門

①事前提出の場合

下記当番校に提出（６月８日(木)必着）

②当日提出の場合

大会当日に受付に提出（９：３０まで）

【提出先・問合せ先当番校】

〒940-0084　長岡市幸町２丁目７番７７号

県立長岡工業高等学校　　平倉政弘

Ｅ－mail：hirakura.masahiro@gs.nein.ed.jp

Tel:(0258)35-1976　　Fax:(0258)39-2054

６　参加・応募規定

全ての部門の**各種様式は、必ず最新の第７０回大会のものを使用してください。古いものは使わないでください。**審査に支障を来すこともあり、場合によっては減点となります。

各種の様式は、ＮＨＫの放送コンテストWEBサイトから、最新版をダウンロードして使用してください。

https://www.nhk-fdn.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_h/index.html（放送教育ネットワーク）

●アナウンス部門

（１）自校の校内放送に使用する内容とします。原稿も審査対象になるので、必ず参加者本人の自作原稿としてください。

（２）発声は、エントリー番号（本選時、予選では申込番号）、氏名を含め「１分１０秒以上１分３０秒以内」でアナウンスします。（学校名は読みません）タイムの過不足は、減点または失格となります。

●朗読部門

（１）指定５作品の中から１つを選び、自分の表現したい部分を抽出して朗読します。

（2）発声は、エントリー番号（本選時、予選では申込番号）、氏名、著者名、作品名を含めて「１分３０秒以上２分以内」で朗読します。（学校名、訳者名は読みません） タイムの過不足は、減点または失格となります。

（３）原作文の脚色・変更は認めず、原文どおりに抽出し、文頭から開始し、文末で終了します。

本文中の（　）内も読みます。ただし、読み仮名・訳者注の場合は読みません。

（４）まえがき、あとがき等からの抽出はしないこと。

（５）予選審査用音声データ・原稿様式はアナウンス部門と同様ですが、原稿表紙には抽出部分の開始ページ数の記入を忘れないでください。

（6）朗読指定作品は、次の５作品です。

第７０回全国高校放送コンテスト朗読部門　指定作品（令和４年7月公開）

①『教科書で読む名作羅生門・蜜柑ほか』芥川龍之介著（ちくま文庫）

②『買えない味』平松洋子著（ちくま文庫）

③『金の角持つ子どもたち』藤岡陽子著（集英社文庫）

④『リンバロストの乙女上・下』ジーン・ポーター著／村岡花子訳（河出文庫）

⑤『奥の細道』松尾芭蕉

注意：電子書籍不可。

☆①②は、収録作品のいずれを選んでも良い。①は2016年発行以降に限る。

☆①は短編名を題名として読む。②は短編名ではなく書名を読む。

☆④は2014年発行以降に限る。⑤は現代語訳不可、出版社は問わない。

●アナウンス・朗読部門共通の規定

（１）１校あたりの参加人数は、制限を設けません。

（2）アナウンス・朗読部門に、当日の課題原稿があります。

自作の原稿に引き続いて読んでください。課題原稿は計時には含みません。

（３）アナウンス部門・朗読部門の予選審査用音声データについて

①音声ファイルMP3形式で作成し、１人１ファイルで録音してください。

②ファイル名は「学校名_部門名と番号_氏名.mp3」としてください。アンダーバー(_)、番号(2ケタ)、ドット(.)は半角とし、番号は参加申込書に記載した順番とします。

例：新潟県立越後高等学校　アナウンス部門　２番　百田川夏菜子　の場合、

越後高校_アナ02_百田川夏菜子.mp3　としてください。

③予選の録音では、エントリー番号の代わりに、上記②の番号を読んでください。

④第一声の前と読み終わりの後に、それぞれ５秒程度の無音部分を作成してください。無音部分は計時に含めません。

⑤録音する際は雑音や物音がなるべくできるだけ入らないようにしてください。また、可能であれば全体の音量レベルを調整し、一番大きい音が-1dbとなるようにしてください。ビットレートは128kbpsを推奨します。

⑥WAVからMP3などのファイル形式の変換や、全体の音量調整は可能ですが、第一声から読み終わりまでにおける、途中での編集は厳禁とします。また、変換を行った場合は、必ず変換後の音声ファイルを最初から最後まで聴いて、音声が変になっていないか確認をしてください。

（４）ファイル形式の変換など技術的な面でお困りの場合は、放送専門部事務局までお知らせください。

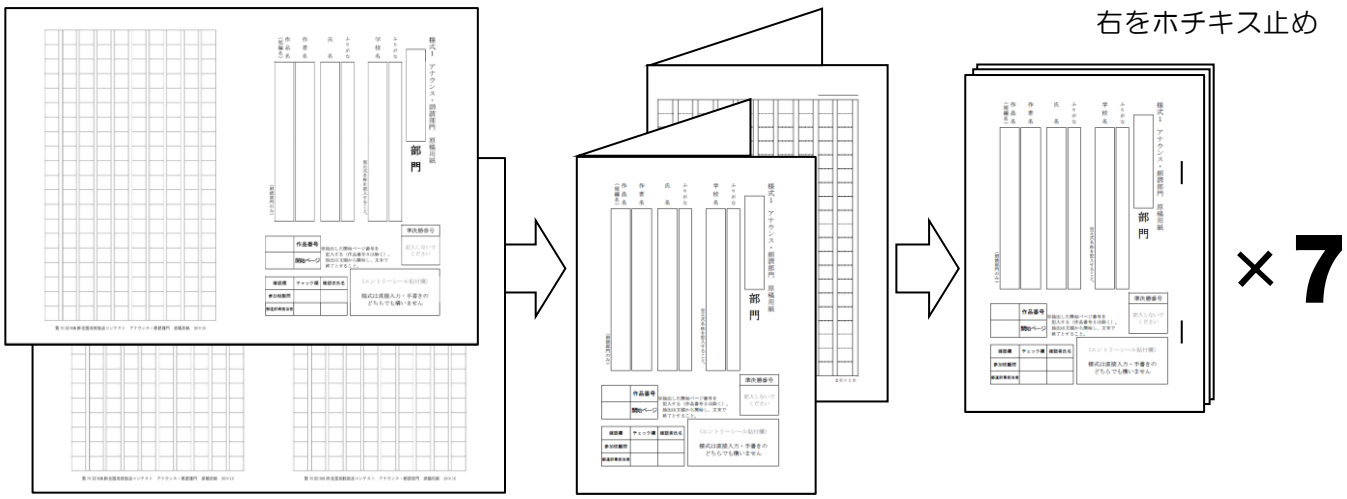
問い合わせ先・・・放送専門部事務局（E-mail：housoujimu.niigata@gmail.com）

（５）予選通過は人数は各部門とも４０人を上限とします。

（６）提出用原稿の作り方

①各、A４サイズで印刷・作成　　②各、二つ折り　　③袋綴じで

右をホチキス止め



※コピーするなどして、１人の出場者につき７部ずつ作成・提出してください。

●ドキュメント・ドラマ部門

（1）部門は、ドキュメント（ラジオ・テレビ）・創作ドラマ（ラジオ・テレビ）の4部門です。

（2）テーマは、高校生としての視点を大切にし、各技法を生かした独創的な作品とします。

（3）出品数は各部門とも、県大会は「1校2作品まで」、**全国大会へは「1校1作品のみ」出品可能です。**

（4）各部門の制作技法は以下のとおりです。

部門	制作時間	データ形式および画面構成
ラジオドキュメント	6分30秒～7分	音声ファイルMP3形式
創作ラジオドラマ	8分以内	
テレビドキュメント	7分30秒～8分	動画ファイルMP4形式 （NTSC、アスペクト比16:9、H.264コーデック） 画質はHD（解像度1920×1080）以下とする。
創作テレビドラマ	8分以内	

※タイムの過不足は、減点または失格となります。

（5）部門ごとの注意事項

◇ラジオ番組の注意事項

①作品の最後に「制作は○○高等学校放送部(局・委員会等)でした」というクレジットコールを吹き込んでください。

②クレジットコールには、他の音声をかぶせないでください。

③クレジットコールを含め、本編の前後に5秒間の無音部分を作成してください。無音部分は制作時間に含まれません。

◇テレビ番組の注意事項

①作品の最後に制作した学校名のクレジット(文字)を挿入してください。

②作品の前後には、規定のテストパターンを各5秒ずつ挿入してください。テストパターンは制作時間に含まれません。

③作品とテストパターンの間にトランジションなどの動きのある部分を設けないでください。

（6）様式規定に従った「番組進行表」を2部作成してください。

（7）音声レベルは、-6dbを基準として作成してください。

（8）ファイル形式の変換など技術的な面でお困りの場合は、放送専門部事務局までお知らせください。

問い合わせ先・・・放送専門部事務局（E-mail：housoujimu.niigata@gmail.com）

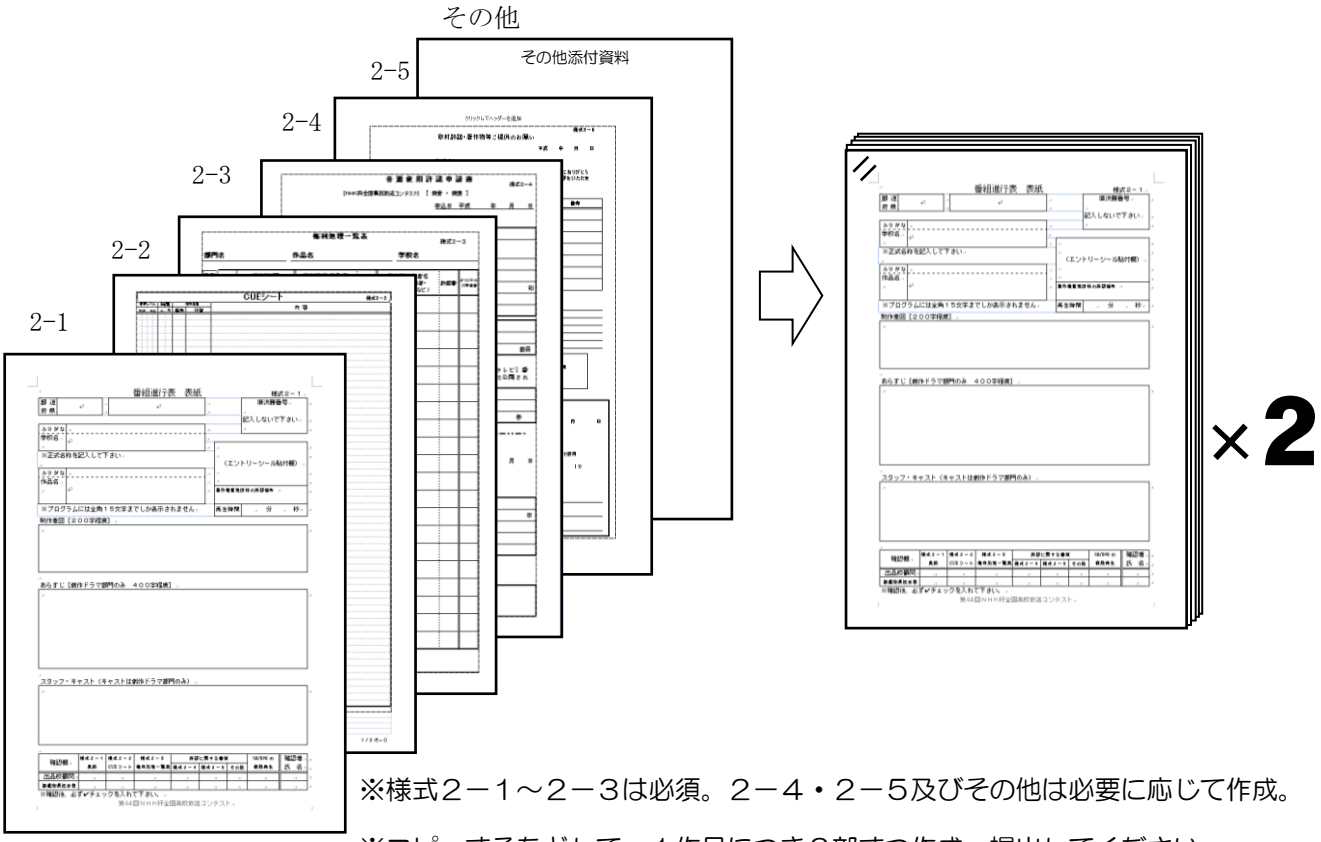
（9）著作権に関わる処理は「校内放送研究」の冊子を参考にして必ず各校においてＪＡＳＲＡＣ（日本音楽著作権協会）等の著作権管理団体との手続きを行ってください。

（10）当日、参加代表者は作品発表の前に、制作意図を述べていただきます。

（11）全国大会に推薦された場合でも、著作権に関わる部分の手直しは認められませんのでご注意ください。

（12）番組部門の進行表・ＣＵＥシート等の作り方

①様式２－１～２－５各、Ａ４サイズで印刷・作成　　②用紙の左上をホチキス止め



※様式２－１～２－３は必須。２－４・２－５及びその他は必要に応じて作成。

※コピーするなどして、１作品につき２部ずつ作成・提出してください。

７　参加費

（１）金額

①アナウンス・朗読部門　　１名につき　　1,０００円

②ドキュメント・創作ドラマ部門　　１作品につき　　2,０００円

（２）納入方法

以下の「ゆうちょ銀行」の口座に、５月２９日（月）までに振り込んでください。

参加料送金先　※振込手数料は、参加校でご負担をお願いいたします。

【銀 行 名】ゆうちょ銀行　【店　　名】一二八（イチニハチ）【店　番】128

【預金種目】普通預金　　【口座番号】2923593

（郵便振替の場合　記号：11220　　番号：29235931）

【口座名義】高文連放送専門部（コウブンレンホウソウセンモンブ）

（３）参加費は、５月２５日（木）の期日までに、申し込みをされた人数・作品数で確定します。

出場辞退や棄権及び予選不通過の場合でも返金はできません。ご了承ください。

８　本選発表順（エントリー番号）の決定

令和５年６月４日（日）アナウンス・朗読予選審査会場で、厳正に抽選を行いますので御一任ください。

９ 表　彰

（１）表彰順位と全国大会の推薦枠

・アナウンス部門　　１位　～　６位（全国大会推薦６名）

・朗　読　部　門　　１位　～　６位（　　〃　　６名）

・ドキュメント部門　　１位　～　４位（　　〃　　４作品　　※１校１作品のみ）

・創作ドラマ部門　　１位　～　３位（　　〃　　２作品　　※１校１作品のみ）

（２）審査員の意向により「奨励賞」「審査員特別賞」が授与されることがあります。

（３）県大会の結果に基づき、全国大会への出場者および参加作品を推薦します。

ただし、県大会の入賞順位に関わらず、大会事務局が推薦しない場合があります。

（４）推薦を受けた場合、原則として全国大会の辞退はできません。

作品・提出物のみの全国大会参加もできません。

全国大会日程をご確認の上、県大会への参加を申し込んでください。

１０　全国大会出場者特別講習会

アナウンス部門・朗読部門の入賞者は、以下の日程の特別講習会に参加することができます。

①6月17日（土）予定　午前または午後（或いは終日）

新潟市「NHK新潟放送局」にて　NHKアナウンサーによる講習

②7月　9日（日）予定　終日

長岡市「中越高等学校」にて　NHK杯・全国総文祭出場者合同講習会

１１　全国大会出場の主なスケジュール

第70回全国大会は、大会会場で全部門の発表が行われます。

ただし、ドキュメント・ドラマ部門の準々決勝のみ事前にデータ審査を行います。

全部門とも、準決勝進出者・作品は、準決勝当日の朝に大会会場で発表されます。

６月１５日（木）出場辞退申出期限　※委員長・高澤（中越高校）へ電話で

６月２６日（月）参加校からの参加費振込締切

６月３０日（金）参加校からの作品データ県内提出締切

全部門の県内エントリーを県事務局が集約し、全国コンテスト委員会へ一括して提出します。

７月　１日（土）～　６日（木）ドキュメント・ドラマ部門準々決勝提出物・著作権処理確認

７月１４日（金）～１６日（土）ドキュメント・ドラマ部門準々決勝データ審査

＜以降は現地で行う＞

７月２４日（月）総合受付

７月２５日（火）各部門準々決勝・研究発表（国立オリンピック記念青少年総合センター）

７月２６日（水）各部門準決勝・研究発表（国立オリンピック記念青少年総合センター）

７月２７日（木）決勝（ＮＨＫホール・ライブ配信）

※２４日～２６日の新潟県選手団控室・練習会場は確保済み。

※交通手段・宿泊先は参加各校で確保してください。

１２　NHKホールへの入場について

（１）NHK ホール入場人数について（以下の人数分の座席をＮＨＫホールに確保されます）

【アナウンス・朗読部門】

１エントリーあたり２名（顧問を含む）の参加とします。

【ドキュメント・ドラマ部門】（及び研究発表部門）

１エントリーあたり３名以内の参加とします。（顧問を含む）

※研究発表２校が NHK ホールで発表を行う

※出場生徒・顧問以外の参加は不可

ＯＢ、ＯＧ、保護者、一般参観者などは入れません。上記の人数枠に入れないでください。

（２）決勝大会のオンライン配信

決勝の模様はオンラインライブ配信を予定。インターネット申し込みで募集。

全国大会出場校のほか都道府県大会出場校も対象。申込が配信許容数を超える場合には抽選。

第 70 回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト新潟県大会兼第 64 回新潟県高等学校放送コンテストに於ける新型コロナウイルス等感染症拡大防止に関する基本方針

1. 来場者を最小限にとどめてください

(ア) 参加生徒は、アナウンス・朗読出場者、番組制作関係者とします

(イ) 見学の生徒の参加は最小限の人数とします

(ウ) 大会出場者の家族の観覧はできますが、一般の公開はしません

2. 大会への出場について

(ア) ５類相当以上の感染症に陽性となった生徒、検査対象となり自宅待機を指示されている生徒及び発熱等の症状がある生徒を除き、大会への参加並びに大会会場へ来場させることができます

(イ) 審査員他、顧問等の部活動関係者、運営職員、観覧の生徒の家族も、これに準じます

(ウ) 学校が学級閉鎖及び臨時休業期間中に参加する場合は、校長が県教育庁の保健体育課に報告してください

(エ) ５類相当以上の感染症に陽性となった生徒が本選への出場ができない場合、感染症の状況などに応じて大会への出場方法等を検討する場合があります

(オ) なお、基本方針は、今後の県教育庁の通知および、新潟県高等学校体育連盟・新潟県高等学校文化連盟の通知に従います

3. タイムテーブルの簡素化として、開会式は行いません

4. 感染防止対策

(ア) 推奨事項

① 参加各校での、参加者への日ごろからの健康管理及び健康状態の把握などにご留意ください

② 当日の会場受付時での体温計測にご協力ください

③ 手指のアルコール消毒にご協力ください

④ マスクの着用にご協力ください

⑤ 昼食時の黙食にご協力ください

(イ) 実施事項

① マイク・机などの消毒

② 換気

③ 三密の回避

④ 各種必要物品の準備

(ウ) その他、衛生管理全般については、会場の指示に従い、適宜配慮します

以上

（R.5/4/19会議後確定版）